

雇用促進住宅問題で政府交渉

「廃止決定が残っている」「耐震工事・修繕がされない」では不安
署名、声を届けて



雇用促進住宅問題で17日、三重県四日市市の住民の会と愛知県大府市の住民が政府交渉を行い、佐々木憲昭議員が同席しました。

政府の住宅廃止決定や民間への売却などで、大きな不安を抱えている住民の方々の切実な声とともに、「廃止方針の撤回を」「民間への売却は中止してください」「すみ続けられるよう、修理等を行ってください」と要望しました。

交渉では、四日市市の雇用促進住宅の存続を求める会の人たちが、県内の他の住宅の自治会長らから賛同署名を集めて提出し、大府市も住民の署名292名分を渡しました。

「躍進月間」

市議会議席回復を 笠寺支部つどい 「名古屋・南区」

佐々木憲昭衆院議員は15日、名古屋市南区の笠寺支部主催の「日本の未来

と日本共産党を語るつどい」で、国政と党を大きくする重要性について報告しました。つどいには29人が参加し、いっせいで地方選で議席をめざす、高橋ゆうすけ市議候補も元気に訴え。南区で心配される水害や地震被害の対策や市政について語りました。

参加者から、この人をぜひ、市議会へ送ろうという熱気がみなぎりしました。



後援会総会で報告 一港区 佐々木議員



佐々木憲昭衆院議員は15日、名古屋市中港区後援会総会で、国会情勢を報告。安倍内閣の暴走にストップをかける国会内でのたたかいを報告しました。

本村伸子参院愛知選挙区候補と来年の地方選で議席確保をめざす山口清明市議もあいさつと決意表明をしました。